

委員名	対象議案	ご質疑・ご意見内容	事務局ご説明
長谷川委員	第1号(令和5年度予算について)	打出分室の改修工事についてですが、窓口等運營業務委託料の減額から換算すると半年以上閉室するというのでしょうか？市民にとっては閉室期間はできるだけ短い方がよいので工事の工夫はできないのでしょうか。	お見込みのとおり、現時点での休室期間は半年を予定しております。 今回の改修工事は、打出分室のみの改修ではなく、打出分室が入っております打出教育文化センター全体と隣接する日本庭園及び打出公園の一体改修工事であるため、図書館のみの工期の短縮は難しいと考えております。 休室期間中の代替手段についても、周辺に規模、設備の面から適当な代替施設がなく、代替場所の設定も難しい状況でございますが、改修工事期間中に打出教育文化センター前に返却ポストを設置して、返却のみではございますが、打出分室で行っていただけるように整備する予定でございます。
長谷川委員	第1号(令和5年度予算について)	打出分室の大規模改修工事関連での費用で、事業説明の資料では41,471千円となっておりますが、図書館費の説明では図書館施設整備費では打出分室関連は39,046千円しか計上されていませんが、差額の2,425千円は何に使われているのでしょうか。	2,425千円につきましては、図書館施設整備費、その他経費のうち、書籍移送先のカーテン設置工事を90千円、消耗品90千円に加えて、打出分室のソファ更新に396千円、返却ポストに580千円、図書除菌機に847千円、雑誌架280千円と新聞架142千円の購入にあててのものでございます。
長谷川委員	第1号(令和5年度予算について)	新規事業の図書館IC機器導入事業について、ICタグ管理をする資料の範囲とその作業に伴う休館の有無についてお教えてください。休館日があるのなら、日数を少なくするために工夫する必要があると思います。	ICタグ管理対象の資料は、原則としてすべての図書館資料(雑誌、CD等も含む)を考えております。 ただし、損耗程度から、ICチップの貼付に適さない特別コレクション等貴重資料につきましては、書庫内管理(禁帯本)であることと電子化事業を進めておりますことから対象外とする予定です。 ICチップの貼付作業につきまして、打出分室分の資料は打出分室休館中に行いますが、本館及び大原分室分の資料につきましては開館しながら実施する予定です。 図書館システムの更新及びIC関係機器の導入にかかる休館は、令和6年3月に予定しておりますが、期間については未定でございます。ゲートの設置工事等、開館しながら行える作業は開館時に行い、必要最低限の休館期間で作業を行えるよう、調整してまいります。
長谷川委員	第1号(令和5年度予算について)	IC機器の導入に際して、現行のコンピュータシステムのソフトウェア等の変更の必要はないのでしょうか。	今回はICチップ貼付、IC機器導入と図書館システムの更新を一体として実施する予定でございますので、システムソフトウェアにつきましても更新予定でございます。
長谷川委員	第1号(令和5年度予算について)	セキュリティゲートの設置について、市民への説明を十分に行う必要があると思いますが、どのように行っていく予定でしょうか。	十分な期間をもって広報紙、ホームページ、館内掲示、チラシ等で周知し、設置直後は、混乱等を防ぐため、スタッフを配置するなど、利用者へのご案内を丁寧に行う予定でございます。
長谷川委員	第2号(その他)	令和3年度(2021年度)版の図書館年報の発行はしないのでしょうか。	申し訳ございません。図書館のホームページにアップいたします。
能勢委員	第2号(その他)	委員は、これまでの経緯や各分野の専門性等からバランスよく選出されていると思いますが、実際に年2回の委員会に出席して発言できる委員を選んでほしいと願います。	ご意見として頂戴いたしました。ありがとうございます。
能勢委員	第2号(その他)	この間のコロナ禍の中でも、貸出しの継続、電子図書館サービスの開始、子ども司書養成講座の開催、親しみやすいテーマ・講師での読書講演会の開催など、市民に開かれたサービス・企画の提供はとても良く、ありがたいと思います。今後も創意工夫ある取組みで、さらに読書への関心を高めサービス向上に努めて欲しいと願っています。	令和5年度も、幅広い方にご利用いただけるサービス・企画を展開してまいりたいと思っております。ありがとうございます。
能勢委員	第2号(その他)	期末の特別整理による本館休館は、11日間でした。棚卸し整理等いろいろな作業があると思いますが、利用者からみると少し長いように感じます。今回のIC機器の導入で、期間短縮が図られるのでしょうか。	ご指摘のとおり、IC機器の導入により蔵書点検業務の省力化や期間の短縮化を見込めると考えております。特別整理による閉館期間を短縮できるように努めてまいります。

中村委員	第1号(令和5年度予算について)	IC機器導入は、混雑時の緩和等に効果が、期待されます。	自動貸出機や本館のみではありますが予約本受け取りコーナーを設置するため、貸出時のカウンターでお持ちいただく時間が短縮するなど一定の混雑緩和を見込んでおります。
松川委員	第1号(令和5年度予算について)	<p>「新規 図書館IC機器導入事業」に関して</p> <p>これまで、特に蔵書点検については、職員の方々にとって連日多大な負担となる業務だと感じておりました。それゆえ、ICタグの導入により、負担が軽減され効率的になることは良いことだと思います。</p> <p>一方で、効率化・省力化が進むことで、人員の削減に繋がるのではと危惧しています。今後IT化が進む中で、時代に対応できる能力を持ち、且つ、これまでの図書館サービスの核となる部分を担える人材は、ますます貴重になると考えます。</p> <p>芦屋市においては、人材の確保・育成にも力を注いでいただきたいと思います。</p> <p>人の手を介することは貴重な価値であることを認めつつ、IT化を進めていただき、芦屋図書館の図書サービスの充実を図ってくださることを願っています。</p>	図書館職員の人材育成について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。
松川委員	第1号(令和5年度予算について)	<p>「図書館施設設備整備費」に関して</p> <p>「改修工事中は閉室し、打出分室の蔵書を移送する」とのことですが、蔵書はどちらに移送されるのでしょうか。本館に移送されるのでしょうか。</p> <p>大規模なプロジェクトを控え、皆さまが担うお役目も大きいことと思います。より良い文化施設になることを願っています。</p>	打出分室の蔵書につきましては、本館には収容できないため、別途、保管場所を設ける予定でございます。